太陽光発電設備の適正な設置等に関する条例（案）に対するパブリックコメント実施結果表

1. パブリックコメント実施の概要			
政策の名称	太陽光発電設備の適正な設置等に関する条例（案）		
意見募集期間	令和6年8月5日～9月4日		
意見等提出者数 及び整理番号	1名 (No.1-1～No.1-2)		
意見等提出数	2件		
2. 意見等の概要と実施機関の考え方			
No.	ページ・該当箇所	提出された意見の概要	意見等に対する実施機関の考え方
1-1	P12 附則2	<p>太陽光発電設備の更新手続きと条例附則2の経過措置について</p> <p>(1) 更新手続きについて</p> <p>設備には耐用年数があり、事業者が太陽光発電事業を継続する場合には、設備の更新が必要不可欠になります。また、設備更新にも同規模・同程度の能力のものの更新とグレードアップした設備に更新するものがあると考えられます。設備の更新手続きは、どのような手続きを行う必要があるのか、必要ないのか、条例案には規定されていないように見えます。更新作業は、設備の撤去・廃棄を伴うものであり規定する必要があると考えます。</p>	<p>事業継続のための太陽光発電施設設備の更新に対して、手続きの規定が無いように見えるが、必要ではないかとのご指摘と存じます。第13条にある太陽光発電設備の設置に係る工事については更新（古いパネルを廃棄し新しいパネルを設置するなど）についても含んだ考え方であると明確になるよう表現方法を再検討したいと考えます。</p>
1-2	P12 附則2	<p>(2) 条例附則2経過措置に該当する設備の更新手続きについて</p> <p>条例が施行される前から太陽光発電事業を開始していた発電設備の更新については、発電事業を開始した際に受けた許認可等に更新手続きの定めの有無によって異なると考えます。しかし、条例第16条廃止等の届出が条例附則2の経過措置に該当しないのであれば、この発電設備の更新であっても、条例案に更新手続きの規定を定め、産業廃棄物の処分が適正に行われるようにしていただきたい。</p>	<p>条例施行前に設置された太陽光発電施設設備の更新についても手続きの規定を定める必要があり、発生する産業廃棄物を適正に処理してほしいとのご指摘と存じます。</p> <p>条例の施行前に着手されたものについては、この条例の一部効力を適用することはできません。しかしながら、施行日以降の更新工事（更新を含め新たな設置を伴う工事）については、この条例に基づく手続きをする必要があります。（1）での回答のとおり併せて対応いたしたいと考えます</p>